

II. 宮前区の都市構造

Ⅱ－１．宮前区の概要

（１） 宮前区のあゆみと位置

（あゆみ）

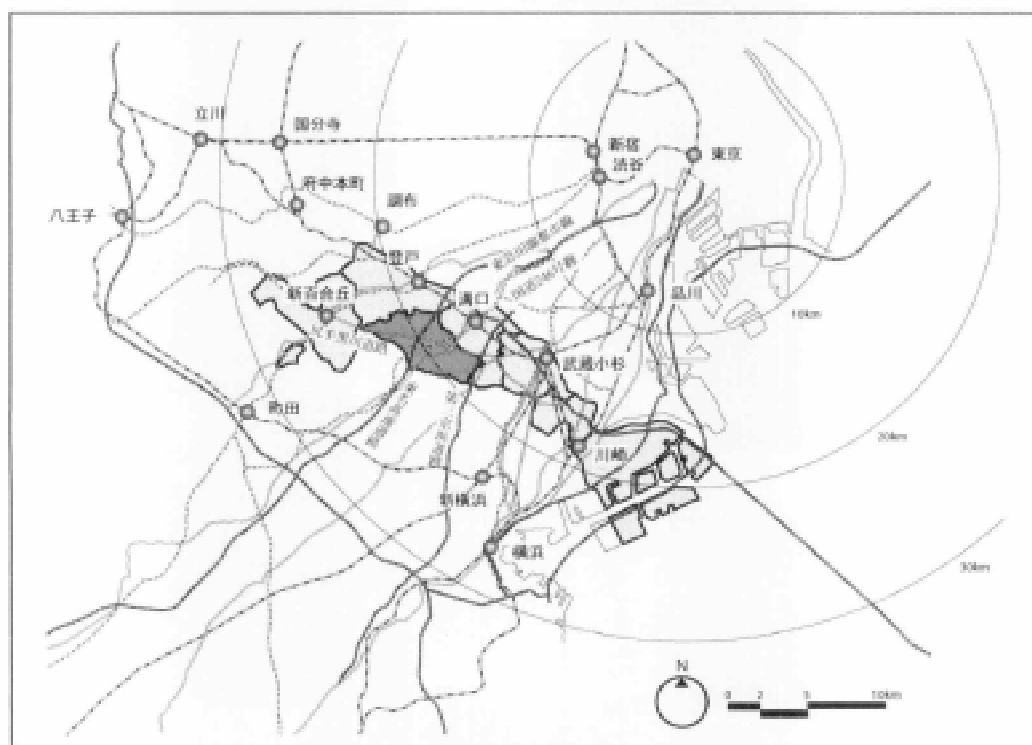
宮前区は、川崎市の西北部に位置しています。

現在の宮前区の区域は、古くは旧橘樹郡宮前村および向丘村に属していましたが、昭和13（1938）年に川崎市に編入合併された後、昭和47（1972）年の政令指定都市移行に伴って高津区に属することになりました。その後、人口の増加と都市化の進展から行政区の再編成が行われ、昭和57（1982）年に高津区から分区し、「宮前区」が誕生しました。

宮前区は多摩丘陵の一角にあり、昭和30年代（1955～1964年）までは農村地域としての性格を色濃く残していましたが、昭和41（1966）年の田園都市線の開通と昭和40（1965）年の第三京浜道路、昭和43（1968）年の東名高速道路の整備等により交通環境が飛躍的に向上したことにより、本格的な都市化が進展しました。さらに、交通基盤の整備と前後して、区内の各所で土地区画整理事業が進められ、東京都市圏の郊外住宅地として急激な人口の流入をみました。宮前区が誕生した昭和57（1982）年に約15万人だった人口は、現在では20万人を越え、川崎市の7区の中で最も人口が多い区になっています。

また、宮前区では、横に細長い区域を鉄道が縦に貫いていることや、坂が多いために駅までの徒歩圏が狭いこと、幹線道路の整備が進んだことなどから、区民の多くは、自動車や二輪車、自転車を利用しており、宮前区のまちづくりもこれに添ったものとなっています。

■宮前区の広域的位置



（位 置）

宮前区は、川崎市の中では、田園都市線沿線に形成された「中部生活ゾーン※1）」に属し、渋谷へ20数分で到達可能なことと東京都心部へ直接乗り入れている利便性の高さから、宮崎台、宮前平、鷺沼の3駅を中心として、郊外型の住宅市街地が形成されています。

宮前平・鷺沼駅周辺地区は、川崎市の生活中心拠点（副都心）として位置づけられ、商業・業務・生活・文化機能などが集積しています。

また、宮前区は、東名高速道路、国道246号、尻手黒川線等の広域幹線道路の結節点となっていることから、幹線道路沿道にディスカウントショップや大規模なホームセンター※2）、家具店、衣類等の量販店およびファミリーレストランなどの立地が進んでいます。

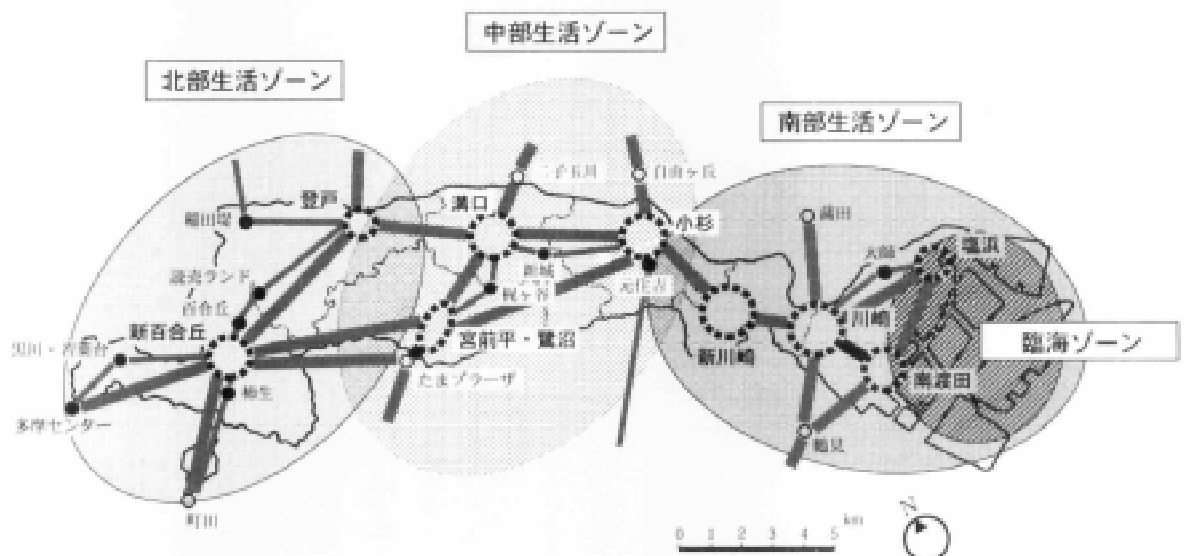
宮前区の行政機能を担う区役所は、田園都市線の3駅から徒歩、バス等によりアクセス可能な位置にあり、隣接する宮前市民館、図書館、警察署、消防署および大型小売店舗等と複合した中心地区を形成しています。

※1）中部生活ゾーン

：川崎市民の生活活動領域は、鉄道を軸に市域を越えて展開され、行政の領域とは別に実質的な生活ゾーンが形成されています。こうした現実の生活行動に即したゾーンのうち、田園都市線、東横線の沿線に形成されたゾーンが「中部生活ゾーン」に位置づけられています。

市の総合計画である「川崎新時代2010プラン」では、各生活ゾーンで住宅・住環境の整備、買い物、福祉、レクリエーションなど市民生活の利便性、快適性の向上、生活と密着した産業の振興など、地域特性を活かした市民生活の実現が目標とされています。

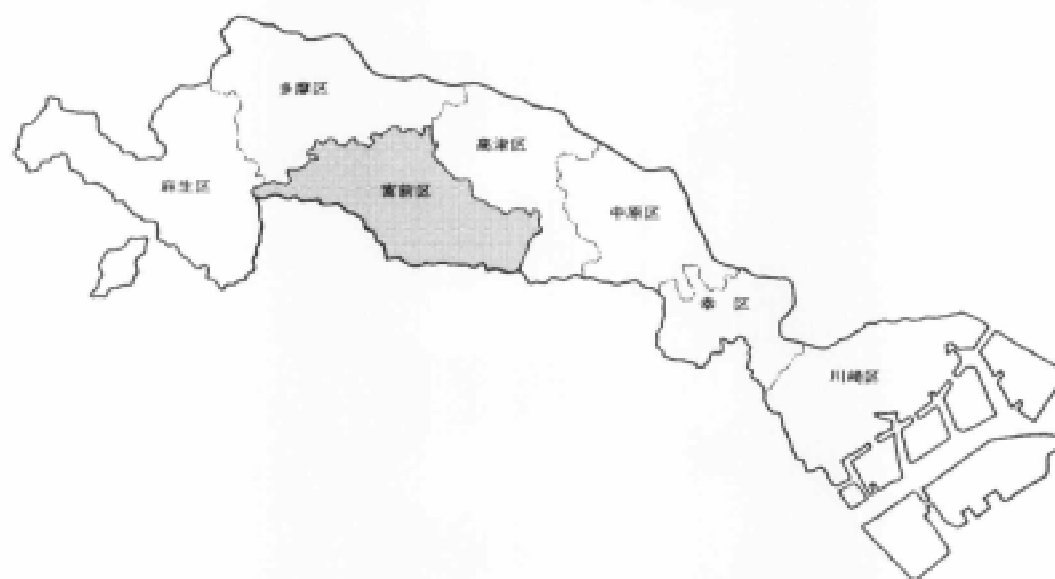
■川崎市の生活ゾーン



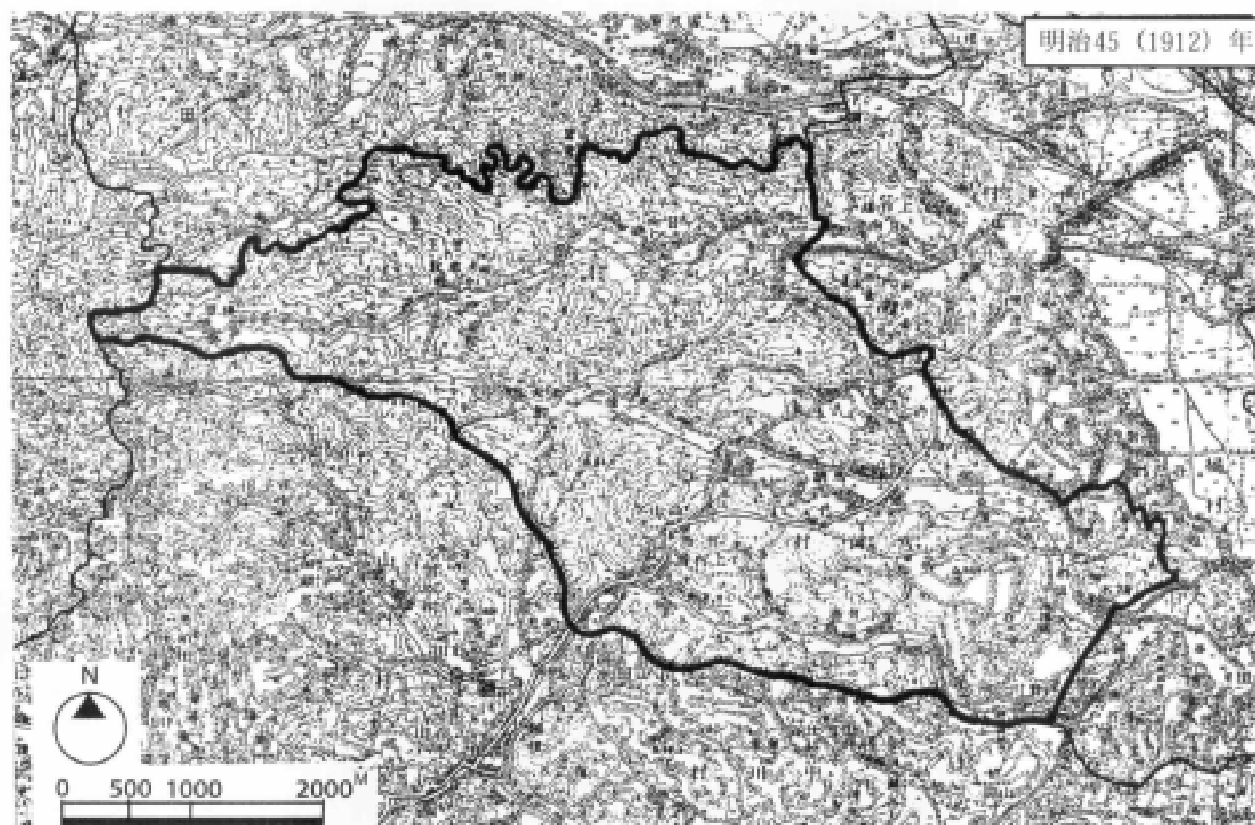
※2）ホームセンター

：日曜大工用品、自動車関連用品、園芸用品、家具などの雑貨を幅広く品揃えした小売り業態をいう。

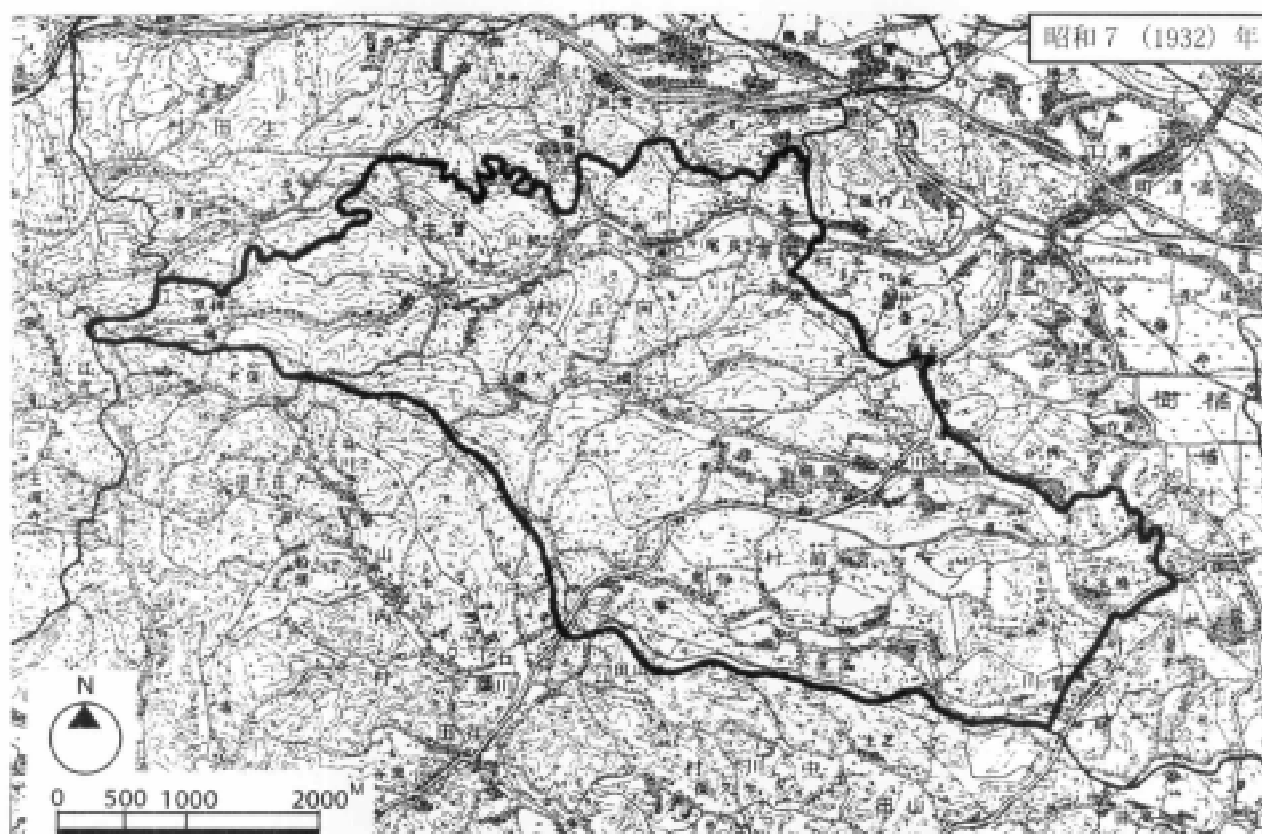
(2) 地形図に見る変遷



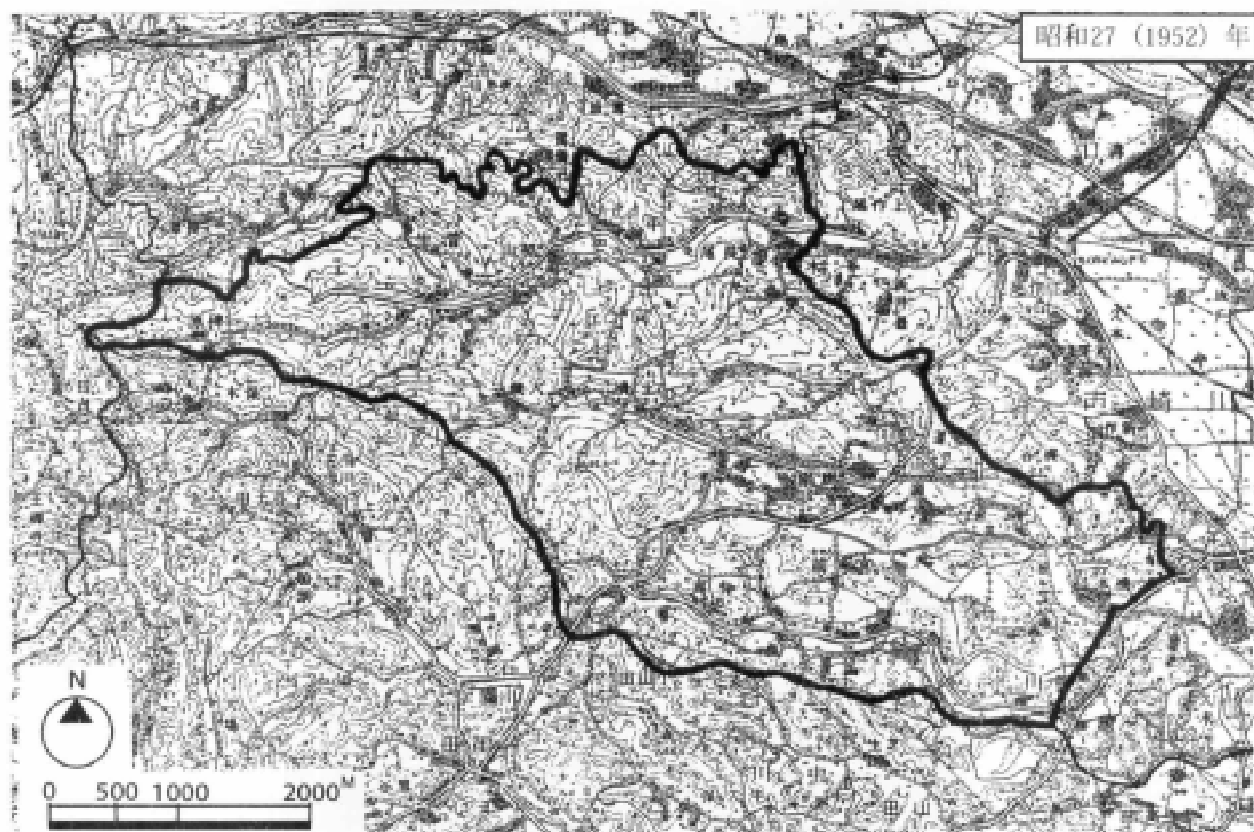
- 現在の宮前区の区域は、旧宮前村と旧向丘村からなっていました。
- 厚木（大山）街道（現国道246号）に沿って集落が形成されていましたが、その他のほとんどの区域は丘陵地帯でした。



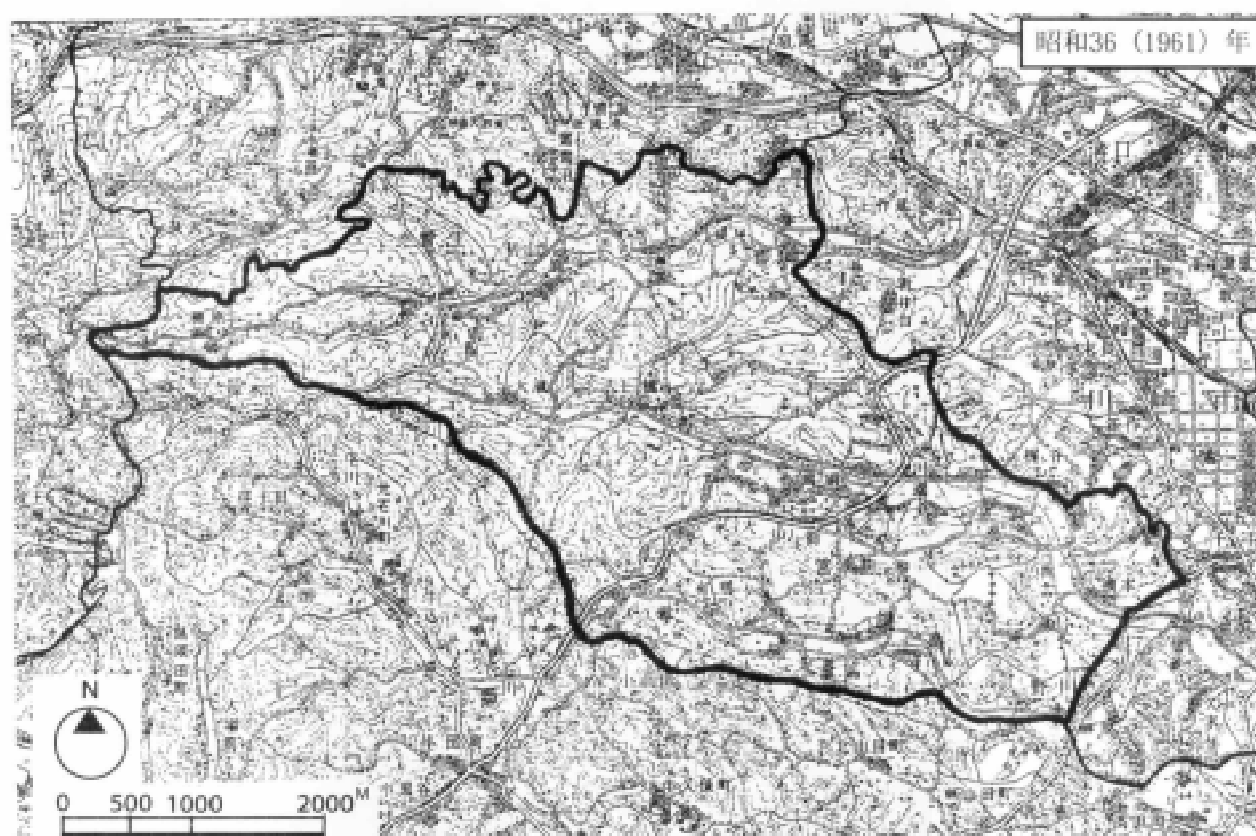
●昭和2（1927）年：南武鉄道（川崎～登戸）、玉川電鉄が溝口まで開通しました。



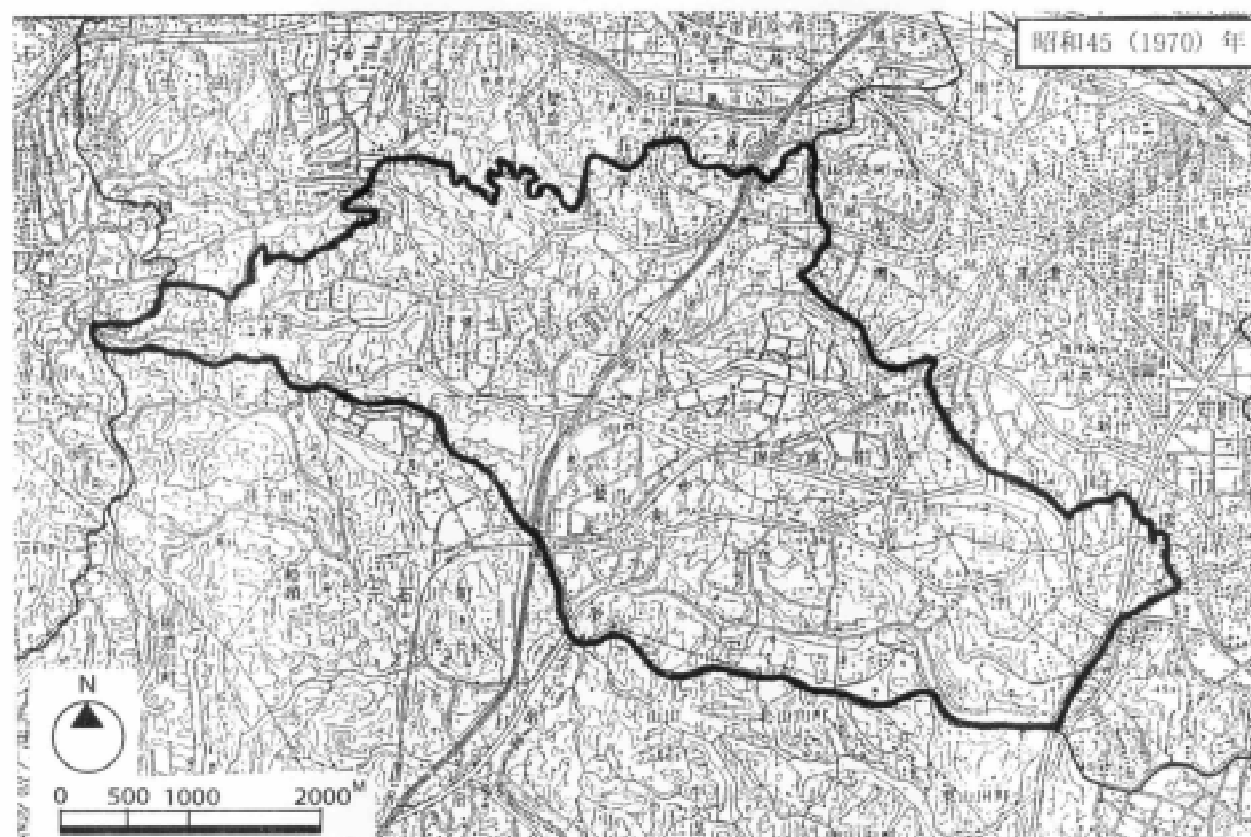
●昭和13（1938）年：宮前村と向丘村が川崎市に合併編入されました。



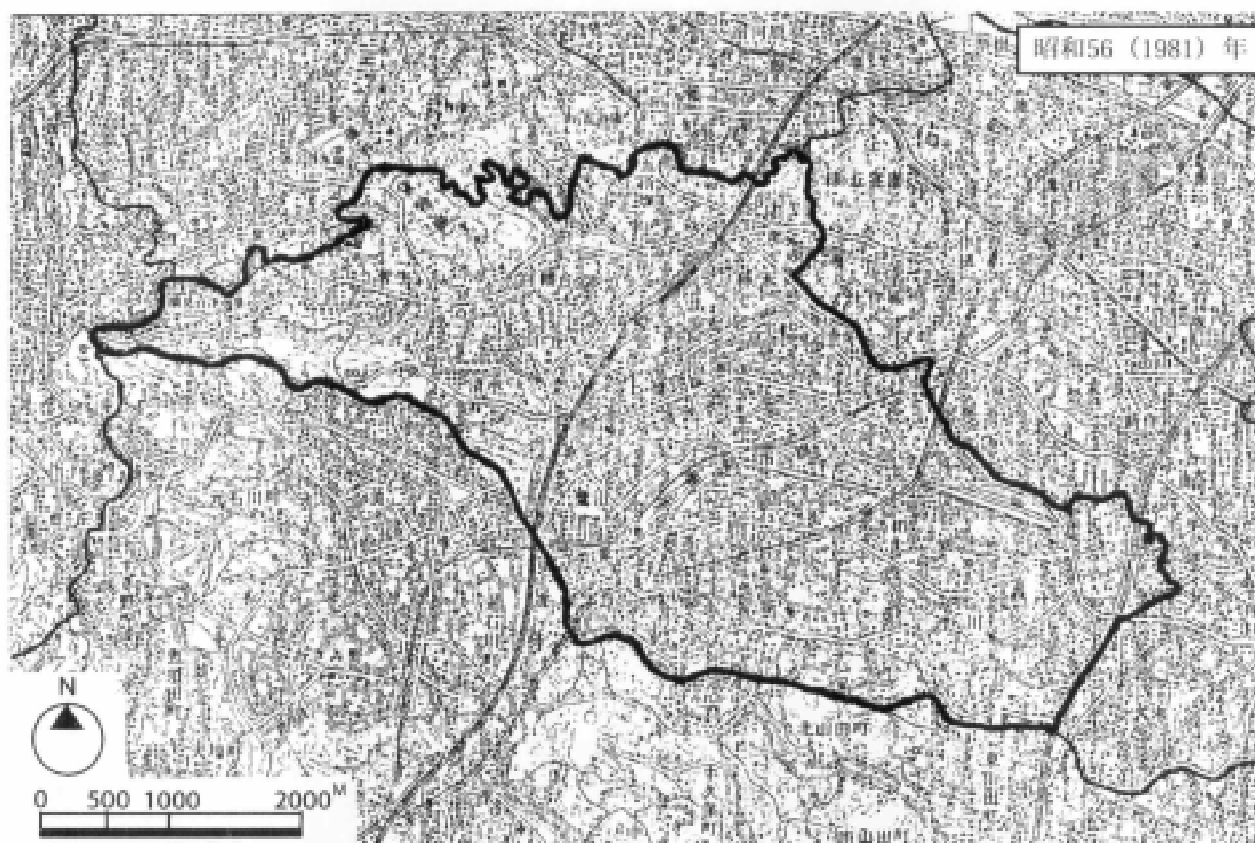
- 昭和 28（1953）年：東急が多摩田園都市開発に着手しました。
- 昭和 36（1961）年：野川第 1 土地区画整理事業が完了しました。



- 昭和 41（1966）年：東急田園都市線が長津田まで開通し、それに伴い、「宮崎台」「宮前平」「鷺沼」の 3 駅が開設されました。
- 昭和 43（1968）年：東名高速道路が厚木まで開通し、川崎インターチェンジが開設されました。



- 昭和 47（1972）年：指定都市移行に伴い、5区のうち高津区に属することになりました。
- 昭和 46（1971）年に神木、昭和 47（1972）年に宮崎、昭和 50（1975）年に小台、昭和 53（1978）年に有馬第二の土地区画整理事業がそれぞれ完了しました。
- 昭和 51（1976）年：貨物線として武蔵野南線が開通しました。
- 昭和 53（1978）年：鷺沼駅前に、さぎ沼とうきゅうが開店しました。



- 昭和 57（1982）年：高津区から分区し、「宮前区」となりました。
- 昭和 57（1982）年：中央卸売市場北部市場が開業しました。
- 昭和 60（1985）年：宮前文化センター（市民館・図書館）が開設されました。
- 昭和 63（1988）年：東急の多摩田園都市開発が日本建築学会賞、街づくり賞を受賞しました。

